

# 住友化学

## CSRレポート 2004 DATA BOOK

**1** マネジメントシステム……2

**2** 環境保全……3

**3** 保安防災……12

**4** 監査……12

## SUSTAINABLE CHEMISTRY

\*住友化学では、全工場で「環境・安全レポート」工場版を作成しています。詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

●住友化学工業(株) 愛媛工場 総務部  
〒792-8521 愛媛県新居浜市惣開町5-1  
TEL 0897-37-1711/FAX 0897-37-4161

●住友化学工業(株) 千葉工場 総務部  
〒299-0195 千葉県市原市姉崎海岸5-1  
TEL 0436-61-1313/FAX 0436-61-2229

●住友化学工業(株) 大阪工場 総務部  
〒554-8558 大阪市此花区春日出中3-1-98  
TEL 06-6466-5022/FAX 06-6466-5460

●住友化学工業(株) 大分工場 総務部  
〒870-0106 大分県大分市大字鶴崎2200  
TEL 097-523-1111/FAX 097-523-1121

●住友化学工業(株) 三沢工場 総務部  
〒033-0022 青森県三沢市大字三沢字淋代平  
TEL 0176-54-2111/FAX 0176-54-2163

# 1 マネジメントシステム 【国際基準によるマネジメントシステムの導入状況】

## ①環境マネジメントシステム (ISO14001)

1  
マ  
ネ  
ジ  
メ  
ン  
ト  
シ  
ス  
テ  
ム

1997～99年にかけて全工場でISO14001の認証取得を完了しました。  
2004年6月現在、住友化学グループ会社では国内18社、海外2社が同システムを認証取得しています。

### ●住友化学5工場のISO14001認証取得状況

工場	登録証番号	取得年月
愛媛工場	JCQA-E-018	1998年 4月
千葉工場	KHK-97ER-04	1997年 6月
大阪工場	JQA-E-90072	1997年11月
大分工場	JQA-E-90152	1998年 3月
三沢工場	JQA-EM0355	1999年 3月

## ②品質マネジメントシステム (ISO9000シリーズ)

1994～95年にかけて全工場でISO9000シリーズの認証取得を完了しました。その後2002～03年にかけて、ISO9000シリーズの2000年版への移行審査を受審し、ISO9001への切り替えを終えました。2004年6月現在、住友化学グループ会社では国内24社、海外11社がISO9000シリーズを認証取得しています。

### ●住友化学 5 工場のISO9000シリーズ認証取得状況 ISO9002 (1994年版) ISO9001 (2000年版)

工場および登録証番号	取得年月	初回登録証発行年月
愛媛工場：JCQA-0019	1994年10月	2002年12月
：JCQA-0320	1998年 4月	2003年 3月
千葉工場：JQA-0829	1995年 3月	2002年 9月
大阪工場：JQA-0721	1994年12月	2002年12月
大分工場：JQA-1069	1995年12月	2003年 2月
三沢工場：JQA-0752	1994年12月	2002年12月

## ③労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS)

2003年5月、他社に先駆けて千葉工場でJISHA（中央労働災害防止協会）よりOSHMSの認定取得を完了（認定証番号：03-12-1、取得年月：2003年5月）しました。2006年度までには全工場・研究所で、同システムの認証取得を計画しています。

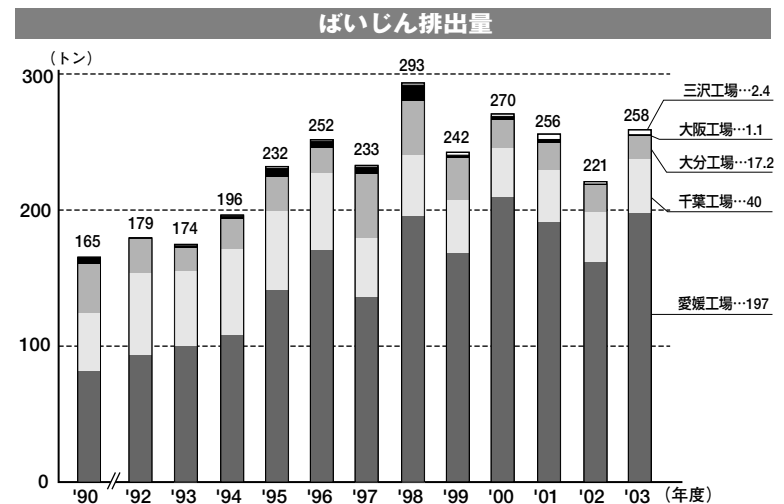
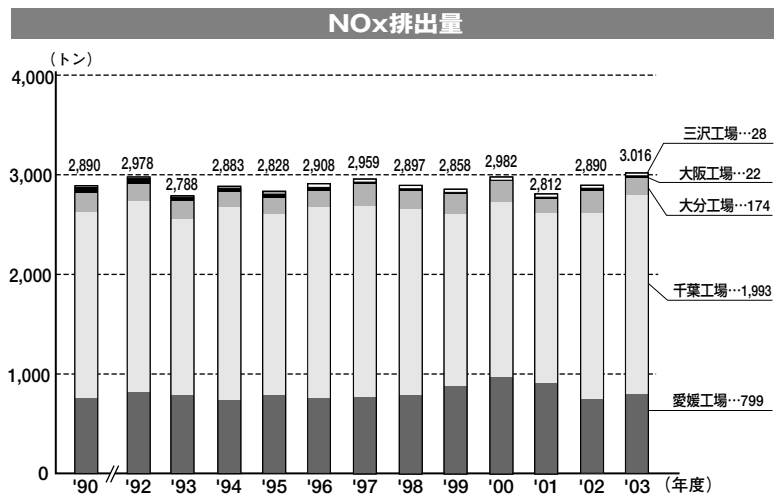
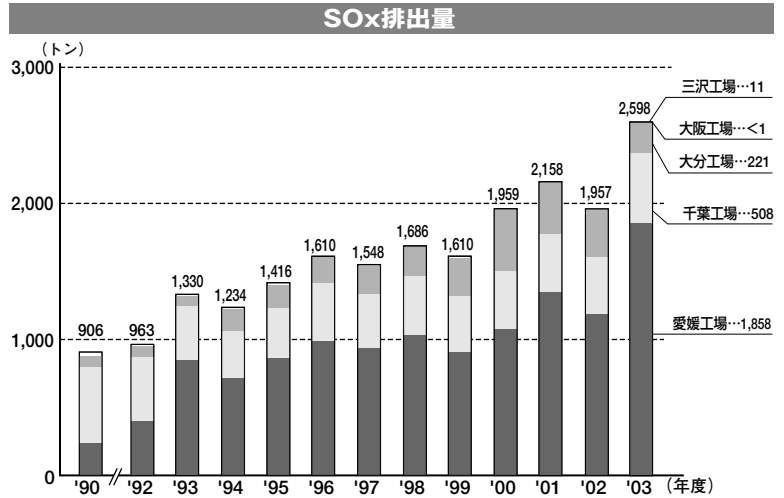
# 2 環境保全

## 公害防止

### ①SOx、NOx、ばいじんの 大気排出量

SOx、NOx、ばいじんの大気排出は、1970年以降大幅な削減を達成し、80年以降、現在まで排出量は低水準を維持しています。また、各工場では、法による規制よりも厳しい協定値を自治体と締結し、この値を自主管理基準値としています。目標として、この自主管理基準値以下の維持・継続に努めています。SOx、ばいじんの排出量については、硫黄含有量の高い重油の使用増加により、ここ数年は増加傾向にあります。自主管理基準値を大幅に下回っています。

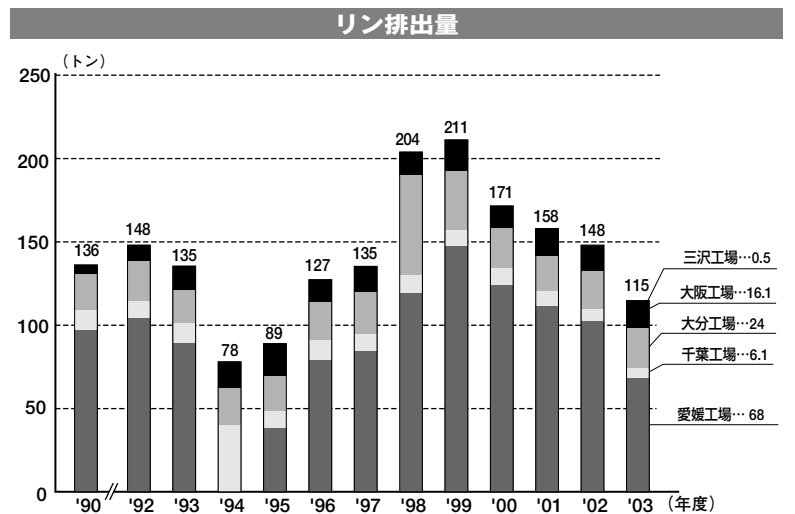
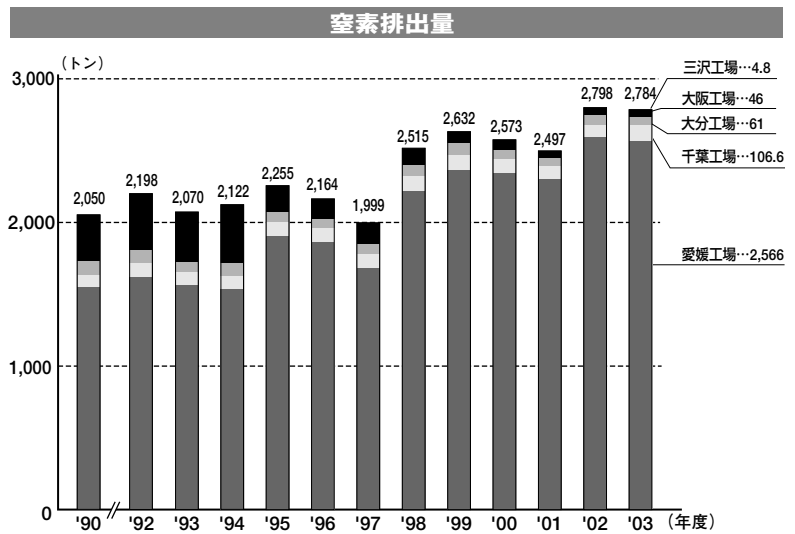
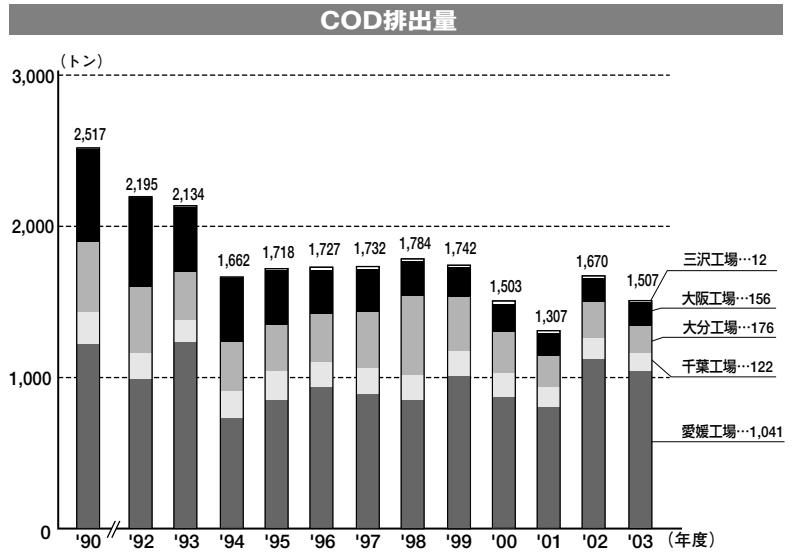
◇目標：自主管理基準値以下の維持・継続に努める。



## ②COD、窒素、リンの水域排出量

COD、窒素、リンについても法による規制よりも厳しい協定値を自治体と締結し、この値を自主管理基準値としています。窒素については製品構成による含窒素排水量の増加が原因で、最近では微増傾向にあります。

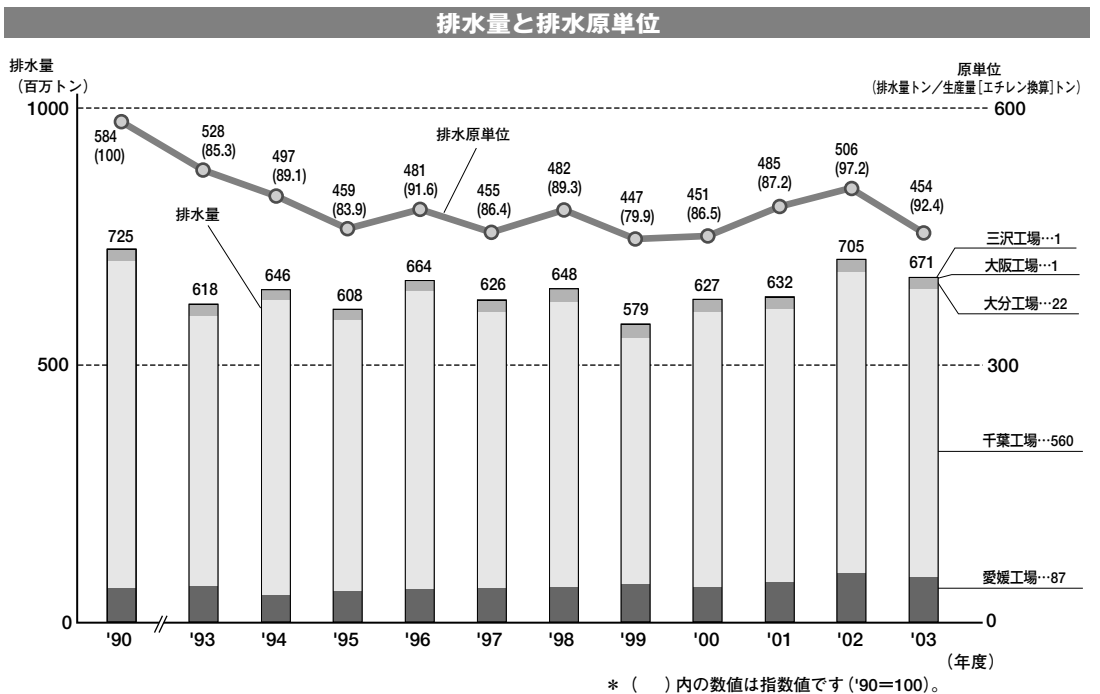
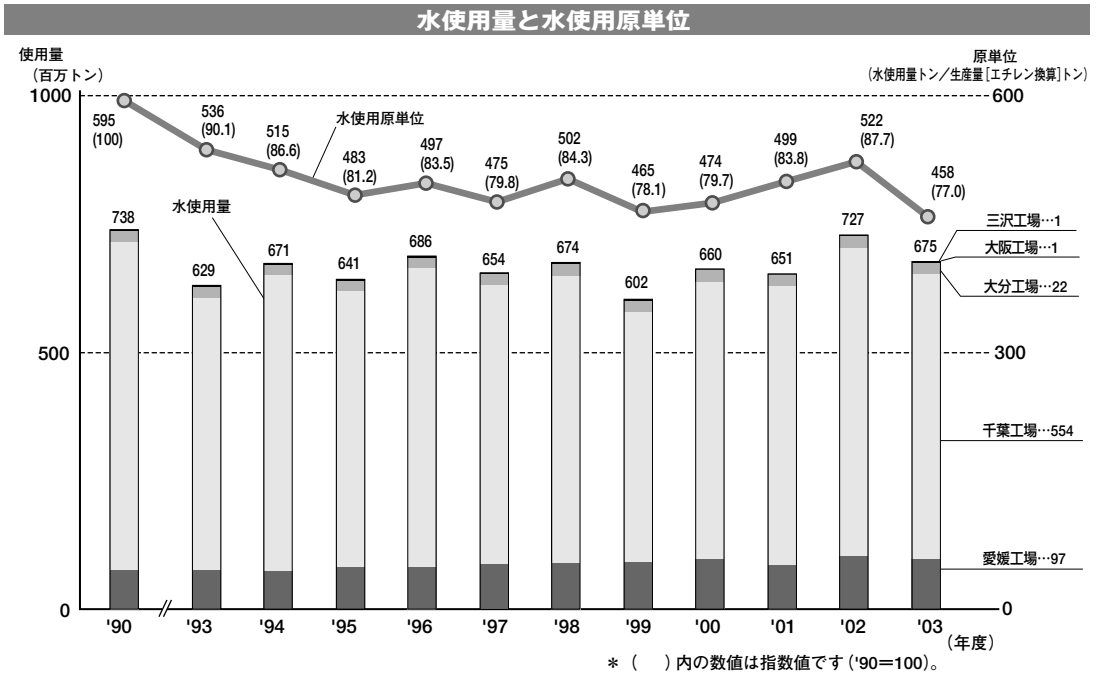
◇目標：自主管理基準値以下の維持・継続に努める。



# 効果的な水利用の推進

生産性の向上、水の効率的な利用などにより、2003年度の水使用量は前年度比7.2%減の675百万トンとなりました。また、同原単位は前年度比12.3%、1990年度比23%改善しました。

◇目標：水資源の効率的な利用



# 温室効果ガス排出削減

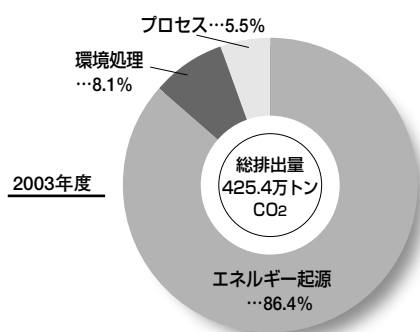
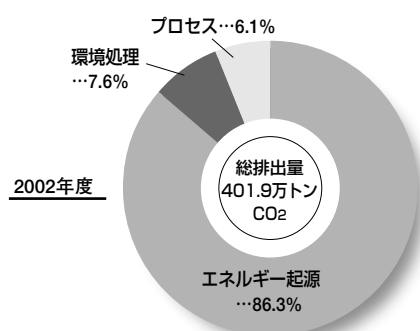
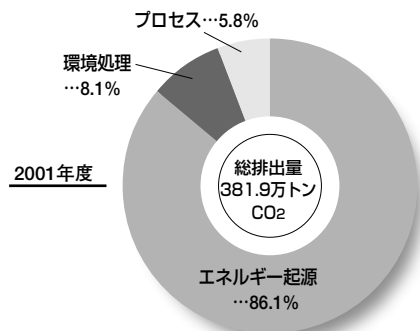
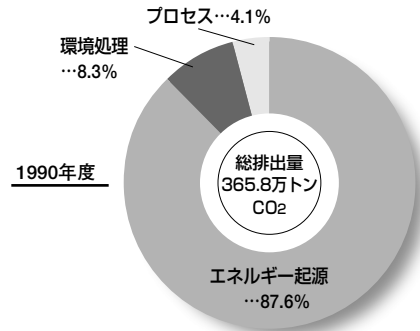
## ①二酸化炭素

2003年度の二酸化炭素排出量は、生産量の増加により前年度比5.9%増の425.4万トンでした。1990年度比では16.3%の増加となりました。

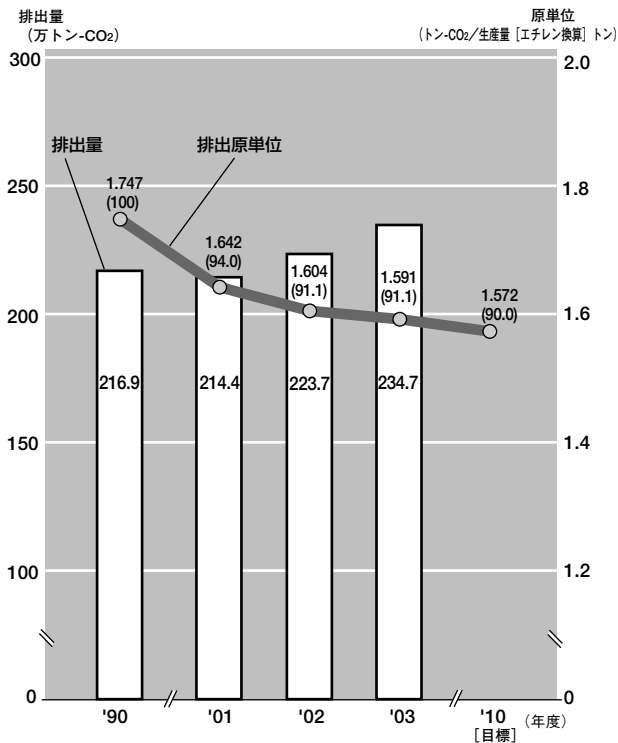
一方、2003年度の自家消費する化石燃料由来の二酸化炭素排出原単位は、前年度比0.8%減少し、1990年度比では8.9%改善しました。

◇目標：自家消費する化石燃料由来の二酸化炭素排出原単位を2010年度までに1990年度比10%改善する。

発生源別の二酸化炭素排出割合



自家消費する化石燃料由来の二酸化炭素排出量と同原単位



\* ( ) 内の数値は指数値です ('90=100)。  
\* 2002年度のデータは、精度向上を図り、修正しました。

## ②温室効果ガス（全6ガス）

「地球温暖化対策の推進に関する法律」で規定されている温室効果ガス(全6ガス)の排出量は、二酸化炭素換算で前年度比5.7%増の430.7万トンとなりました。

### 温室効果ガス（全6ガス）の排出量

(単位：万トン-CO<sub>2</sub>換算)

	2002年度	2003年度
二酸化炭素	401.9	425.4
メタン	0.01	0.01
亜酸化窒素	5.6	5.3
HFC（ハイドロフルオロカーボン）	0.02	<0.01
PFC（パーフルオロカーボン）	0	0
六フッ化硫黄	0	0
合計	407.5	430.7

(注) 2002年度の亜酸化窒素のデータは精度向上を図り、修正しました。

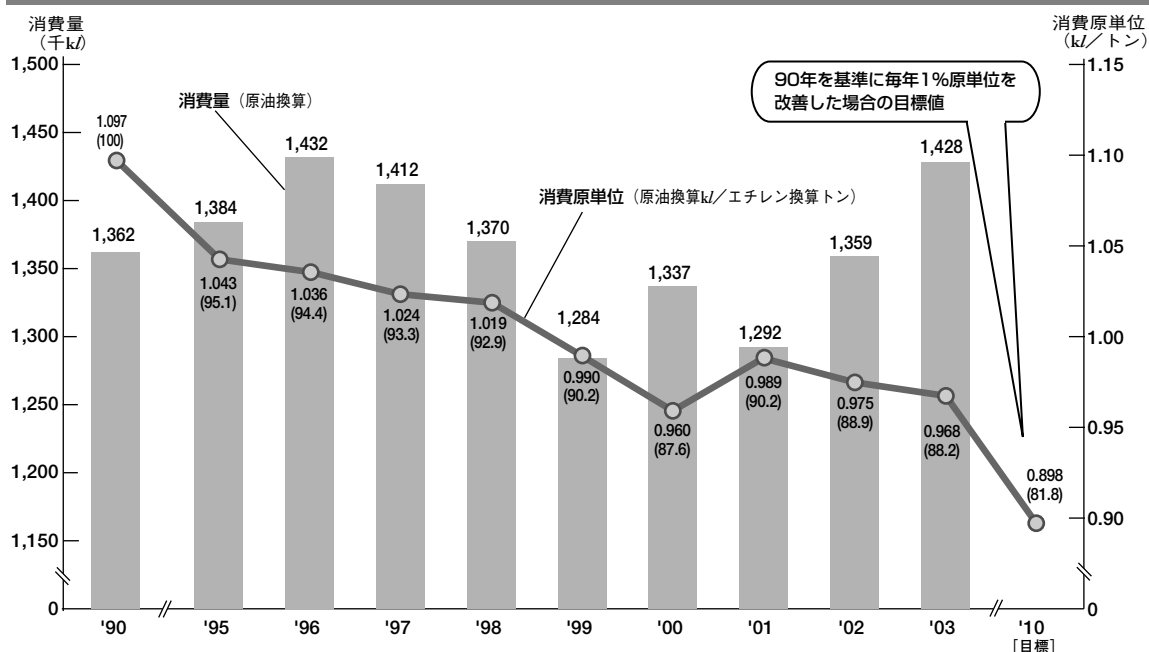
## 省エネルギー

2003年度のエネルギー消費量は生産量の増加により、前年度比5.1%増の1428（千kl-原油）となりましたが、種々の省エネルギー対策（エチレンやBTXの排熱回収ほか）の実施により、エネルギー消費原単位は前年度比0.7%改善しました。

1990年度の同原単位指数を100とした場合、2003年度は目標87.8に対して実績88.2となり、達成率は96.7%でした。

◇目標：年平均1%以上のエネルギー消費原単位を改善する。

### エネルギー消費量とエネルギー消費原単位



\* ( ) 内の数値は指数値です ('90=100)。

# PRTR対応

住友化学は、リスク評価や排出ランキング評価等の結果に基づき、「PRTR法調査対象物質の総排出量（大気・水域）を2010年度までに2002年度比50%削減」という新たな目標を策定いたしました。現在、目標の達成に向け、各種の削減対策を計画的に推進しています。2003年度のPRTR法調査対象物質の総排出量は、削減の取り組み強化の結果、813トンとなり、前年度比12.2%の削減となりました。

移動量は、大阪工場の産業廃棄物焼却炉の運転を中止したことにより、前年度より1,436トン増加の1,848トンでした。

●2003年度PRTR調査対象物質の排出量・移動量一覧表①\*1

<単位：トン\*2 ただしダイオキシン類のみ mg-TEQ>

PRTR法 該当物質	日化協調査 対象物質	化学物質名	排出量					移動量		
			大気	水域	土壌 (埋立を除く)	埋立	排出量合計	下水道	廃棄物	移動量合計
○	○	亜鉛の水溶性化合物	0.2	0.8	0.0	0.0	1.0	0.0	5.7	5.7
○	○	アクリルアミド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	アクリル酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	アクリル酸ブチル	<0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	アクリル酸メチル	6.5	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0
○	○	アクリロニトリル	15.4	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0
○	○	アクロレイン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	アジピン酸	0.9	4.8	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0
○	○	アセトアルデヒド	0.2	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
○	○	アセトニトリル	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	アセトン	48.7	3.9	0.0	0.0	52.6	<0.1	25.9	25.9
○	○	2,2-アジビスイソプロピロニトリル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	O-アニシジン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	アニリン	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
○	○	2-アミノエタノール	0.4	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
○	○	m-アミノフェノール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	アリルアルコール	0.1	<0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
○	○	アンモニア	5.2	1.2	0.0	0.0	6.4	0.0	0.0	0.0
○	○	アルミニウム化合物（水溶性塩）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	イソブレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	O-エチル=O-(6-ニトロ-m-トリル)=sec-ブチルホスホル アミドチオアート（別名：ブタミホス）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	2-エチル-1-ヘキサノール	<0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	エチルベンゼン	6.0	<0.1	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0
○	○	エチレンオキシド*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	エチレングリコール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	エピクロヒドリン	17.6	0.4	0.0	0.0	18.0	0.0	0.0	0.0
○	○	1,2-エポキシプロパン（別名：酸化プロピレン）	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	塩化アンモニウム	0.0	15.6	0.0	0.0	15.6	0.0	0.0	0.0
○	○	塩化水素（塩酸を除く）	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
○	○	塩素	<0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	ε-カプロラクタム	0.3	87.0	0.0	0.0	87.3	0.0	0.0	0.0
○	○	ギ酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	キシレン	14.1	<0.1	0.0	0.0	14.1	<0.1	262.3	262.3
○	○	クメン/イソプロピルベンゼン	12.5	0.1	0.0	0.0	12.6	0.0	0.0	0.0
○	○	グリオキサール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	クレゾール（o,m,p）	0.4	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
○	○	p-クロロアニリン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	クロロエタン	12.1	0.0	0.0	0.0	12.1	0.0	0.0	0.0
○	○	クロロエチレン（別名：塩化ビニル）	12.2	<0.1	0.0	0.0	12.2	0.0	0.0	0.0
○	○	3-クロロプロペン（別名：塩化アリル）	7.4	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0
○	○	クロロベンゼン	19.6	<0.1	0.0	0.0	19.6	0.0	525.3	525.3
○	○	クロロホルム	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7
○	○	コバルト及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
○	○	酢酸エチル	11.4	0.0	0.0	0.0	11.4	0.0	2.7	2.7
○	○	酢酸ビニル	253.0	0.4	0.0	0.0	253.4	0.0	13.2	13.2
○	○	α-シアノ-3-フェノキシベンジル=2-(4-クロロフェニル) -3-メチルブチラート（別名：フェンバレード）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	無機シアン化合物（錯塩及びシアン酸塩を除く）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	ジエタノールアミン	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
○	○	1,4-ジオキサン	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	1.0	131.9	132.9
○	○	シクロヘキサノール	9.3	<0.1	0.0	0.0	9.3	0.0	0.0	0.0
○	○	シクロヘキサン	44.5	0.0	0.0	0.0	44.5	0.0	0.0	0.0
○	○	シクロヘキシルアミン	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
○	○	1,2-ジクロロエタン	10.8	0.0	0.0	0.0	10.8	0.0	221.0	221.0
○	○	1,1-ジクロロエチレン（別名：塩化ビニリデン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	1,2-ジクロロプロパン	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
○	○	1,3-ジクロロプロペン（別名：D-D）	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
○	○	o-ジクロロベンゼン	0.2	<0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
○	○	ジクロロペンタフルオロプロパン（別名：HCFC-225）	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0
○	○	ジクロロメタン（別名：塩化メチレン）	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
○	○	ジニトロトルエン	0.0	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0
○	○	2,4-ジニトロフェノール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



●2003年度PRTR調査対象物質の排出量・移動量一覧表②\*1

<単位：トン\*2 ただしダイオキシン類のみmg-TEQ>

PRTR法 該当物質	日化協調査 対象物質	化学物質名	排出量					移動量		
			大気	水域	土壌 (埋立を除く)	埋立	排出量合計	下水道	廃棄物	移動量合計
○	○	ジフェニルアミン	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	○	2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール/BHT	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	ジメチルアミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.2	68.2
○	○	N,N-ジメチルホルムアミド	<0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0
	○	臭化水素	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	しゅう酸	4.4	0.0	0.0	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0
	○	臭素	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	硝酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	スチレン	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
○	○	ダイオキシン類 (mg-TEQ)	134.3	29.0	0.0	0.0	163.3	0.0	122.1	122.1
○	○	チオリン酸O,O-ジメチル-O-(3-メチル-4-ニトロフェニル) (別名：フェニトロチオン又はMEP)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	テトラヒドロフラン	9.0	<0.1	0.0	0.0	9.0	0.0	2.0	2.0
○	○	テレフタル酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	銅水溶性塩 (錯塩を除く)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	トリエタノールアミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	トリエチルアミン	18.1	8.6	0.0	0.0	26.7	0.0	38.9	38.9
○	○	2,4,6-トリクロロ-1,3,5-トリアジン (塩化シアヌル)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	トリクロロトリフルオロエタン (別名：CFC-113)	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
	○	トリメチルアミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	o-トルイジン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	トルエン	215.4	0.5	0.0	0.0	215.9	<0.1	649.7	649.7
○	○	鉛及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9
○	○	ニッケル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2
○	○	N-ニトロソジフェニルアミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	ニトロトルエン(o,m,p)	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
○	○	p-ニトロフェノール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	2-ニトロプロパン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	ニトロベンゼン	0.6	5.3	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
○	○	バリウム及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	ヒドラジン	<0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	○	ピリジン	0.4	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0	11.3	11.3
	○	ハイドロキノン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	m-フェニレンジアミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	フェノール	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
	○	1,3-ブタジエン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	フタル酸ジイソブチル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	フタル酸ジ-n-ブチル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	フタル酸ビス (2-エチルヘキシル)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	ブチルアルコール	2.8	1.2	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	○	ブチルアルデヒド	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
○	○	ふっ化水素及びその水溶性塩	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3
	○	プロピルアルコール	7.2	0.0	0.0	0.0	7.2	0.0	7.7	7.7
○	○	ヘキサメチレンジアミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	n-ヘキササン	32.8	0.0	0.0	0.0	32.8	1.4	149.4	150.8
○	○	ベンジル=クロリド (別名：塩化ベンジル)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	ベンズアルデヒド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	ベンゼン	41.7	0.5	0.0	0.0	42.2	0.0	0.0	0.0
	○	ベンタエリスリトール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	ホウ素及びその化合物	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0
○	○	ホスゲン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	ポリ (オキシエチレン) =ニルフェニルエーテル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	ホルムアルデヒド	<0.1	<0.1	0.0	0.0	<0.1	2.0	0.0	2.0
○	○	無水フタル酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	無水マレイン酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	メタクリル酸2-エチルヘキシル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	メタクリル酸2,3-エポキシプロピル	2.5	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0
○	○	メタクリル酸メチル	57.6	0.0	0.0	0.0	57.6	0.0	14.1	14.1
	○	メタンチオール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	メチルアミン	0.5	0.6	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
	○	メチルアルコール	49.6	0.3	0.0	0.0	49.9	3.1	479.7	482.8
	○	メチルエチルケトン	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
○	○	N-メチルカルバミン酸2-sec-ブチルフェニル (別名：フェノバルブ又はBPMC)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	α-メチルスチレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	N-メチルピロリドン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4
	○	メチルイソブチルケトン	104.7	1.7	0.0	0.0	106.4	0.0	59.2	59.2
	○	メラミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
○	○	モリブデン及びその化合物	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	2.5	2.5
	○	よう素	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	硫酸	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
	○	硫酸ジエチル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	硫酸ジメチル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	○	リン及びその化合物	0.0	56.6	0.0	0.0	56.6	0.0	0.1	0.1
		住友化学使用全133物質の総計 (2003年度)*3	1074.2	196.4	0.0	0.0	1270.6	7.5	2682.5	2690.0
		住友化学使用全120物質の総計 (2002年度)	1421.1	213.0	0.0	0.0	1634.1	8.0	586.8	594.8
		住友化学使用全131物質の総計 (2001年度)	1598.7	256.0	0.0	0.1	1854.8	24.7	974.4	899.1
		住友化学使用全140物質の総計 (2000年度)	1783.2	129.9	0.0	0.0	1913.1	71.2	756.9	828.1

\*1：PRTR法における調査対象物質の据切り条件の変更に伴い、2003年度から調査対象物質は、これまでの「取引量5トン/年以上」から「同1トン/年以上 (ダイオキシン類と特定第一種指定化合物を除く)」としました。特定第一種指定化合物については、2003年度もこれまでと同様に取引量0.5トン/年以上の物質を対象にしています。

\*2：PRTR法ではkg・有効数字2桁ですが、本報告書の数値はトン単位 (ダイオキシンではmg-TEQ) で小数点以下第一位まで表記しました (小数点第二位で四捨五入)。

\*3：2003年度の調査対象物質は調査対象の据切り条件の変更に伴い、2002年度調査対象物質120物質から133物質になりました。

●2003年度PRTR調査対象物質の排出・移動量の内訳

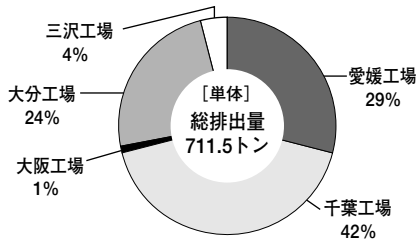
(単位：トン)

	排出			移動		
	大気	水域	小計	下水道	廃棄	小計
PRTR法調査対象物質・単体 (88物質)	711.5	101.4	812.9	3.0	1,845.2	1,848.2
2003年度PRTR法調査対象物質・連結	1,691.5	130.1	1,821.6	18.1	6,620.7	6,638.8
日化協PRTR調査対象物質・単体 (133物質)	1,074.2	196.4	1,270.6	7.5	2,682.5	2,690.0

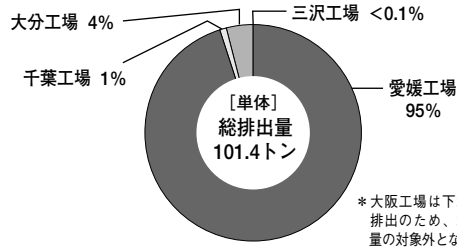
(注) 連結のPRTR法調査対象物質の排出・移動量の内訳は、住友化学と国内グループ会社(13社)の集計値です。

排出量の工場別内訳

●大気排出量 (PRTR法調査対象物質)



●水域排出量 (PRTR法調査対象物質)

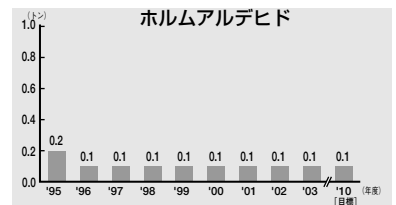
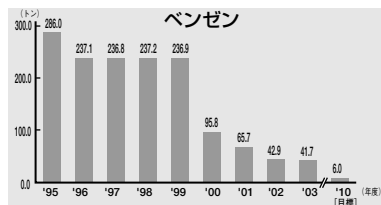
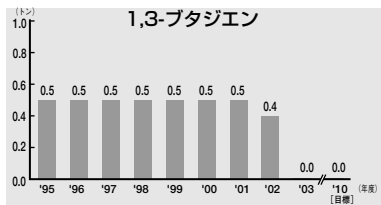
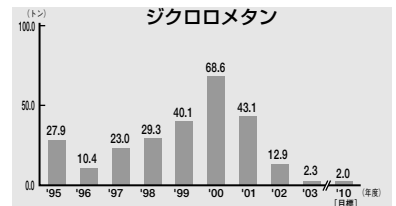
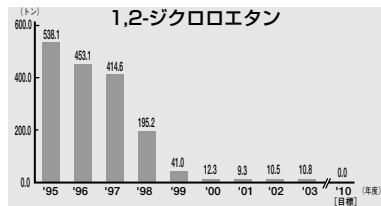
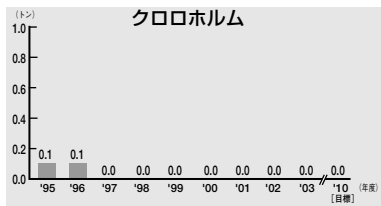
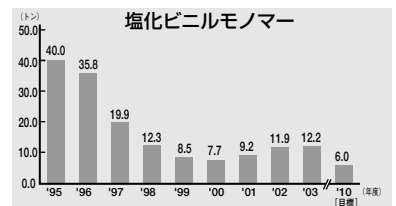
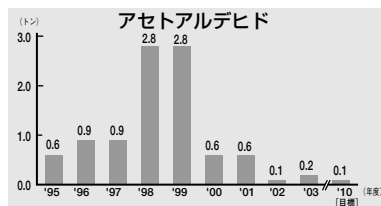
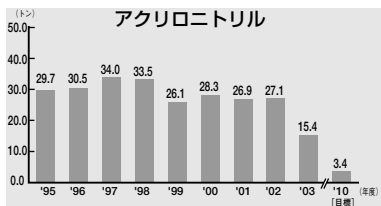
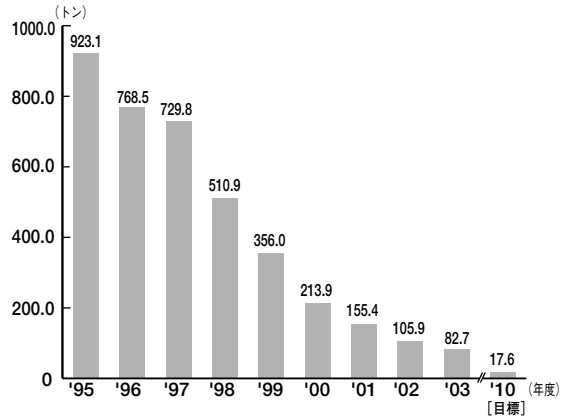


\* 大阪工場は下水道への排出のため、水域排出量の対象外となります。

有害大気汚染自主管理物質の排出削減

環境省が定める優先的取り組み物質(全22物質)のうち、当社で取り扱いのある全9物質の2003年度の総排出量は、製品出荷タンクへの水吸収塔の設置(アクリロニトリル)、ベンゼン排ガスラインへの活性炭吸着設備の設置、1,3-ブタジエンの使用中止などの対策を実施した結果、82.7トンの排出量となり、前年度より21.9%削減しました。1999年度比では77%の削減となり、「2003年度の総排出量を1999年度比75%削減」の目標を達成しました。2004年度以降は削減目標をPRTR対応の目標に統合化し、2010年度までに1999年度比95%の削減を計画しています。

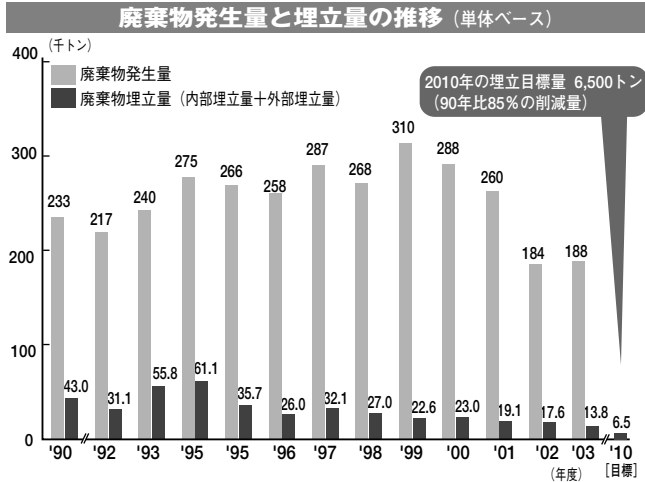
全9物質の排出量



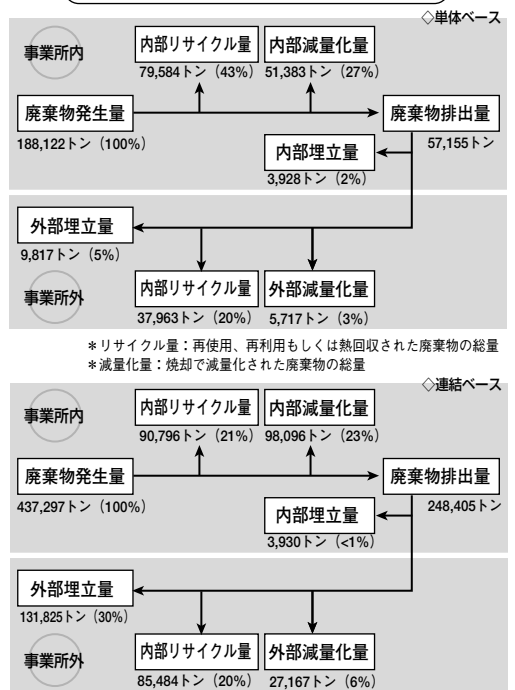
## 廃棄物削減

廃棄物の発生量削減や再資源化の推進により、2003年度の廃棄物埋立量は13.8千トンで、前年度比21.6%、1990年度比67.9%削減しました。

◇目標：2010年度の廃棄物埋立量を1990年度比85%削減する。



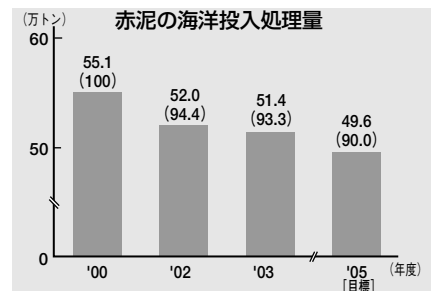
廃棄物処理フローと実績 (2003年度)



## 赤泥削減

赤泥 (天然ボーキサイトからアルミナ成分のみを抽出した残りの物質) の海洋投入処理量は、前年度比1.1%減の514千トン、基準年の2000年度比6.7%削減しました。

◇目標：2005年度の海洋投入処理量を2000年度比10%削減する。



## PCBの回収・保管・処理

「PCB (ポリ塩化ビフェニル) 廃棄物の適正な処理に関する特別措置法」に基づき、保有するPCB廃棄物 (変圧器、コンデンサーなどのPCB絶縁油を含有する電機機器) は適正に回収し、特別管理産業廃棄物として倉庫内に保管場所を定め、厳重に保管しています。これらPCB廃棄物については、同法が定めた処理期限を前倒して、2014年3月までに全数の処理を完了させる予定です。

◇目標：PCB廃棄物の適正な回収・保管に努め、2014年3月までに処理を完了する。

### ●2003年度末における PCB廃棄物の管理状況 (単体、連結ベース)

	PCB廃棄物台数	PCB量 (m <sup>3</sup> )
単体	749 (保管…710/使用…39)	42.1
連結	979 (保管…930/使用…49)	45.4

## オゾン層破壊防止

強いオゾン層破壊作用を有する特定フロン (「特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律」で特定物質に指定されたもの) を冷媒に使用する冷凍機について、「みだりに冷媒を大気へ排出しない」「冷凍機の使用を中止して、特定フロンを処分する場合は、適切に回収・運搬して破壊処理を行う」という方針で管理しています。

◇目標：特定フロン (CFC11、CFC12、CFC113、CFC114、CFC115) を冷媒とする冷凍機の使用を2025年までに全廃する。

### ●2003年度末における 特定フロン冷凍機の管理状況 (単体、連結ベース)

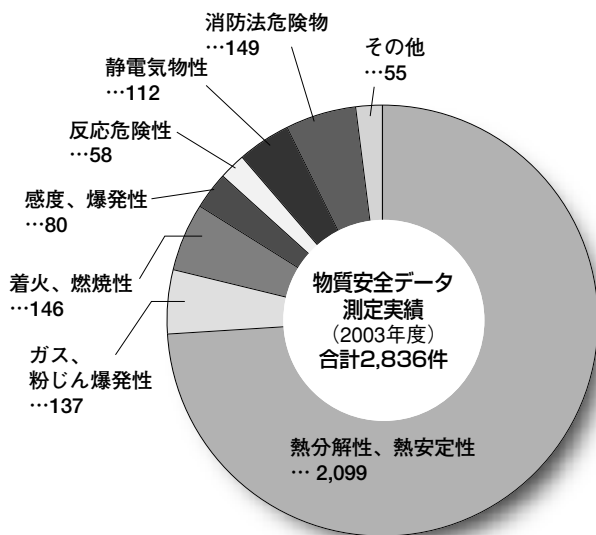
種類	単体	連結
	台数	
CFC11	26	30
CFC12	17	103
CFC113	0	0
CFC114	0	0
CFC115	0	8
計	43	141

# 3 保安防災

## 物質安全データ測定実績

3 保安防災

生産技術センター安全工学研究室（愛媛）では、化学プロセスの火災・爆発の災害を防止するため、プロセスの安全性の検討・評価と安全対策の研究、物質安全データの測定と評価の研究、保安技術の蓄積とそのデータベース化、安全技術者の育成などを行っています。2003年度の物質安全データ測定件数は前年比335件増の全2,836件でした。そのうち74%が熱分解、熱安定性の試験です。



# 4 監査

## 実績

4 監査

2003年度は5工場（敷地内研究所を含む）・1研究所と5事業部門の監査を、国内外のグループ会社においては10事業所の監査をそれぞれ実施しました。なお、国内グループ会社（35社）の監査については、2002年度から二巡目に入っています。

### ●レスポンシブル・ケア監査実績（最近5年間）

事業所等		1999	2000	2001	2002	2003
専門監査	工場*	5	4	5	4	5
	研究所	0	2	1	0	1
	物流中継所	0	0	0	1	0
	事業部門	4	4	4	5	5
	グループ会社（国内）	5	22	16	9	8
	グループ会社（海外）	0	0	2	1	2
全体監査	工場・研究所	5	6	6	5	6

\*敷地内研究所を含む。

## 指摘内容

レスポンシブル・ケア監査は9回目を迎え、「改善が好ましい」「検討を要する」という指摘には重大事項がなくなってきています。一方で、「優れた取り組みとして評価できる」という指摘が増えてきました。グループ会社に関しては、レスポンシブル・ケアへの取り組み時期が比較的新しく、住友化学によるレスポンシブル・ケア監査の結果では、システム構築段階の会社・事業所も一部にみられました。また、ISO9001、ISO14001の認証登録、GMP対応等を終えて、世界標準に対応している会社・事業所もあり、進捗状況に企業間格差がみられます。2003年度は、自助努力や住友化学の支援により、スタートが遅れた会社・事業所の整備が進んでいる例がみられました。

### ●2003年度事業所の専門監査の指摘数

対象事業所等	5工場・1研究所	5事業部
評価（重要）	25	12
要改善	92	35
要検討	105	25